

会議名	第1回 池田市環境審議会(令和元年度第1回)議事録概要		
会場	池田市庁舎 6階第2会議室	月日	令和元年10月7日(月)
出席委員	◎藤田祥子、○上岡典子、熊谷樹一郎、橋口勝利、中堂武賢、谷田成司、庄田佳保里、笹部雄作、上野浩文、岡田正文 欠席 深井彰、柏葉三千子 (会長:◎ 会長代理:○)		
事務局	市	根津、吉村、島野、國安、塩山、杉本、西野	
	調査担当機関	(株)オリエンタルコンサルタンツ:土崎	傍聴者 なし
内容及び記録	<p>■議題1 池田市新環境基本計画の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シェアリングエコノミーの実証実験はすごく良いと感じる。ゆっくり動く電動のモビリティを用いて運送するような社会実験も始まっているので、それらも考慮するとより良い。(熊谷委員) ・新しい取り組みは以前のようにチェックを付けておいた方が他の地域に広げていく布石になる。(藤田会長) ・市民が関心を持って読んでくれたときに、何をしたらいいのか分かってもらえるように伝えること、どう関わっていきけるかを提案していくことも今後大事である。(橋口委員) ・緑被率の指標について、池田市独自の緑の環境の視点が欲しい。海外からのワイルドな自然が素晴らしいという価値観に合わせて、緑を置いておくばかりではうまく広がらない。(笹部委員) ・緑被率はグーグルの衛星写真でさかのぼると夏でも冬でも膨大な比較ができると聞いた。そのようなものを活用して基礎調査を継続するのもいい。(庄田委員) ・リサイクル率がずっと横ばいだが、これに対して手を打つ必要があるのではないかと。(谷田委員) ・リサイクル率を上げるには新しい分別を増やすなどの手を打たないといけないが、置いておく場所、収集体制等が揃わず難しい状況である。(事務局) ・生ごみだけを別で回収して一ヶ所に集めて堆肥化するようなシステムは考えられないのか。次にごみの減量を考えるとそこしかないように思う。(藤田会長) ・一定の量になると、堆肥化するために遠方まで運搬する必要があり費用面で難しい。(事務局) ・池田市を含め日本の多くのエリアで園芸土の受け入れ、処分先がなく、このような緑化に伴う課題も考える必要がある。(笹部委員) ・かんきょうレポート2018(案)について意見を踏まえて見直しを検討して頂きたい。(藤田会長) <p>■議題2 次期池田市環境基本計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成について府計画との関連を考慮しているようだが、池田市独自のものをつくるべきで、府のものに1対1で対応させることを無理にしないでいいのでは。(熊谷委員) ・中間見直しの庁内アンケート結果からすると、他課ではどのように環境を意識していけばいいのかわからない部分があったのではないかと。独自のチェック項目を増やし、やってほしいことなどを投げかけられたら意識しやすいと思う。(藤田会長) ・自然の評価はしにくい。生態系を金銭的な面に換算してしまうことも考えられる。維持した生態系サービスについては色々な換算率がある。(笹部委員) ・他地域の事例では、評価項目を増やすことで地域資源の価値を高めていこうという意図を感じる。池田でもルールの中での規制よりも、創造性に配慮しながら指標を作ると良い。(上野委員) ・緑視率を指標にしている地域はあまりなく独自性がある。調査地点数だけでなく満足度の指標を増やしてはどうか。(上岡委員) ・社会情勢がかなり変わってきている。食品ロスやモビリティなどの課題もある。海洋プラスチックごみの問題も猪名川に絡んでくる。また、適応策をどうするかも考える必要がある。温暖化はそのまま続くと言われており、環境でも防災と密接に関わってくる。(庄田委員) ・環境について地域の人たちが勉強して、子どもたちに伝えて、花開かせていくというのが池田市の環境基本計画の特徴になっている。環境学習に関する指標が必要である。(橋口委員) ・環境学習についての職員研修は2年続いている。その流れは途絶えさせずに連携していきたいと思うが、環境学習についてもこの先教育委員会との連携の在り方のゴール地点が見えていない。他地域のように人事交流をすることなども考えられる。(庄田委員) ・アウトカム指標は取りにくいアウトプット指標は簡単に取れる。また、達成目標を持たせるものと、持たせずウォッチ・モニタリングする指標を作りましょうというやり方もある。重要なのは政策を進めていくことであり、ここに手を取られ過ぎてはいけないと思う。(谷田委員) ・他の部署との連携で縦割りをどう超えるかなどは今後も難しいと思う。プロジェクトチームみたいなものは庁内にあるが、2課に所属するなど、仕事の仕方や行政機構を変えていくことも考えられると良い。(谷田委員) ・今日出た指標の案等を一度取りまとめてほしい。新しく社会情勢が変わってくる中で入れ込んでいったらいいと思われるものも網羅して頂ければありがたい。来年度の1回目の審議会までに整理していただき、その議論を始められる状況にしてもらえるとうれしい。(藤田会長) 		
準備資料	<p>次第、出席者名簿 資料1-かんきょうレポート2018(案) 資料2-時期池田市環境基本計画の策定について 参考資料:①中間見直しの際の庁内アンケート結果抜粋/②大阪府「大阪21世紀の新環境総合計画」 ③近隣都市の環境基本計画において設定されている指標</p>		